

鉄道車両の輪軸組立作業における点検結果について

関東運輸局からの鉄道車両における輪軸の緊急点検の指示を受け、当社内で保管している記録がすべて基準値内に収まっていることを確認しました。しかしながら、輪軸組立作業の委託先である東京地下鉄株式会社(以下、「東京メトロ」という。)より、当社保有の車両において、車輪圧入力値の基準値を超過している輪軸があり、数値の書き換えが行われていたが、東京メトロによる超音波探傷検査により安全性が確認されているとの報告がありました。

ご利用のお客様に深くお詫びするとともに、関係者の皆さまにもご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

当社として本事案を厳粛に受けとめ、安全を第一に、再発防止に取り組んでまいります。詳細は下記のとおりです。

記

1. 緊急点検の対象輪軸

2000系車両 440軸(110両)

2. 点検結果の概要

点検の結果、車輪圧入作業において、圧入力値が基準値を超過している輪軸が計2軸(2編成)あることが判明しました。なお、最大で3%超過しておりました。

また、車輪圧入作業時の圧入力値は、機械に自動的に入力される仕組みとなっておりますが、一部手動で記録を修正することが可能であり、基準値内の数値に書き換えていたことが判明しました。

3. 原因

詳細については委託先の東京メトロにて確認中です。また、当社においては、報告された検査記録では書き換えについて認識することができておりませんでした。

4. 当面の対応

圧入力値が上限基準値を超過した輪軸を有する車両(輪軸:2軸)を含む全車両については、車輪圧入作業の後に超音波探傷検査^(※)を業務委託先の東京メトロにて実施し、安全性を確認した上で使用しております。これらの安全性を確認する上では、日本産業規格(JIS E4504)で定める値を踏まえて判断しております。今後の運行には影響はない見込みです。

(※)超音波を試験体内部に伝播させて、傷から反射した超音波の強さと反射する範囲を元に、傷の大きさや形状を推定する検査

5. 再発防止策

- ・委託先である東京メトロに対し、検査データを手動で書き換えができないシステムに改修するとともにチェック体制及び報告体制について見直しを要望します。
- ・東京メトロにて見直したチェック体制及び報告体制の有効性を当社にて確認します。
- ・当社社員へ本事案を周知するとともに、安全の重要性及びコンプライアンスの遵守について再徹底を行います。